



あやめだより

令和元年10月号

「思いやり」あふれる長岡南小に！

朝晩の少し冷えた空気が心地よく、秋の深まりを感じます。ようやく残暑から解放され、子どもたちは「実りの秋」を張り切って活動しています。

先日実施された5年生の自然教室、計画真っ最中の6年生の修学旅行、4年生による音楽発表会、そして各学年の校外学習などで、「素敵な実」を実らすためには、みんなで「協力」「団結」「心をついに」して取り組まなければなりません。

以前集会で、以下のような話を校長からしました。

今日は、ドラえもんのお話をします。ドラえもんの話ですが、お話の主役のドラえもんでなく、のび太君としずかちゃんの二人のお話をしたいと思います。

この話は知っている人も多いと思います。

のび太君としずかちゃんは、やがて大人になって結婚します。のび太君は本当にしずかちゃんと結婚できるか心配で、ドラえもんをお願いしてタイムマシンで未来に見に行きます。そして、こっそり見たのは、結婚式の前の日、しずかちゃんがパパに

「結婚してうまくやっていけるか心配だわ。」

と話しているところでした。その時、しずかちゃんのパパは、こう言いました。

「大丈夫だ。あの青年は人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことができる人だ。人間にとって一番大事なことなんだ。彼なら間違いなく君を幸せにしてくれると、僕は信じているよ。」

しずかちゃんのパパは、のび太君のことをそう話したんですね。

校長先生はみなさんに、のび太君のように「人の幸せを心から願い、人の不幸を悲しむ」人になってほしいと思っています。みんなで活動するとき、自分より友達のことを考えられる人に。友達に対して、様々な人たちに対して、思いやりをもって取り組んでほしいと思います。



また、自然教室で5年生に、こんな話をしました。

皆さんは、「楽しい自然教室にしたい」という願いをもっていると思います。この「楽しいの楽」という文字の語源をしていますか？「楽」は楽器からきていて、「人を楽しくさせる」というところからきています。自分はもちろんですが、「人を喜ばせる」「人を笑顔にすること」これが、「楽」の本来の意味です。友達のことを考え、思いやりをもって活動し、「学びのある楽しい自然教室」にしてください。

1年の後半に突入します。後半も、教職員一丸となり、子どもたちが元気で楽しく、「思いやり」をもって学校生活を送り、更なる成長ができる学校づくりをしていきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。